

なぜ踊らなければならぬのか？

素朴な疑問である。たしかに踊らずにすめばそれに「した」ことはあるまい。しかし私達はどうしてもそうせざるをえないのである。なぜなら踊る「こと」がようやく世界の端々に引つかかっているからである。踊っているから「そ、かろうじて世界から」ぼれ落ちずにすんでいるのだ。生まれてから今まで「どのように生きてきてしまった」とはしかたない。願わくば、その「ことをきいていきまばり」なれてやり直すこと。それが私達の舞台である。今「どこやらなければ、もう一度とできないだろう。」「いつか、どこか」で「はなへ、いま、どこ」で。もはや「一刻の猶予もならぬ。踊れ！世界の果ての」私「という小さな自我」の暗がりから跳躍せよ。そして重く閉ざされた自分の壁を超えて、明るく開かれた「他者」へ「あなた」がいる地平へと着地せよ。しかし「そこ」には単純なエクスタシーはない。むしろ苦痛ばかりである。自己を他者に向けて「踊らざるには多くの苦痛を伴う。そのことを避けて通ることはできない。苦痛を伴わないものなど偽物である。ならば正々堂々と進もうではないか。弱気は禁物。ほんの少しでも伏し目がちになったり、ほんのちよとでも視線が宙を泳いでしまったためである。正確に眼の高さで真正面を見据えるのだ。あれこれ考えるな。考えてからではもう遅い。からだを動かして進めよ。すべては「はなから」ついでに「こゝろ」で何かを表そうとする「こと」よりも早く、すでに何かが見れてしまっている。思わずかたが動いてしまっているのだ。真に「即興」とはそのような状況下で踊られるものではないだろうか。30回のワークショップを経て、私達は「二人たりつき、何をしよう」と「なにか」の「こと」が単に私達の問題として終わるのではなく、観客のひとりひとり「なにか」の「何らかのダンス」を「なにか」を踊っている。

岩下 徹

Here we are!
 Here we are!

有田 美香子

池田 理恵

大川 洸

杉浦 麻衣子

出口 馨

中島 やよい

藤原 理恵子

古川 真由

森 章恵

八木 亜紀子

岩下徹ダンスワークショップ&パフォーマンス ダンス以前からダンスへ——発表公演 Here we are!

岩下徹のナビゲイトのもと、1月から3月までの3ヵ月間、計30回110時間のワークショップを通して、参加者それぞれが自分自身のダンスを発見、創造中です。単発ワークショップが、日常の中で何気なく繰り返している単純な動きを通して、ダンスの動きや形が生まれてくる以前の状態に立ち戻り、自分のからだ、感覚、動きの始まりをみつめる場だとすれば、この〈ダンス以前からダンスへ〉はそこからさらに一歩踏みこみ、一人一人が自分にしかできない自分のダンスを発見し、立ち上げる場となることをめざしています。年齢、性別、動機、ダンス経験の有無など様々な10名の舞台、どうぞお立会い下さい。

日 時 3月19日(日) 6:00pm

20日(祝) 3:00pm

※開場は開演の30分前。

料 金 前売1,000円 当日1,500円(全自由席)

前売取扱 チケットぴあ 06-6363-9999
 アイホール 0727-82-2000

スタッフ

照 明/澳義則(アートステージプロ)
 音 響/加藤陽一郎(SFC)
 宣伝美術/大平純子(工作室)
 企画製作/志賀玲子(ヴィレッヂ)

主 催 伊丹市、(財)伊丹市文化振興財団
 会場・予約・問合せ アイホール(JR伊丹駅前)
 〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1
 TEL0727-82-2000 FAX0727-82-8680